



議会だより そでがうら

市議会



No.192

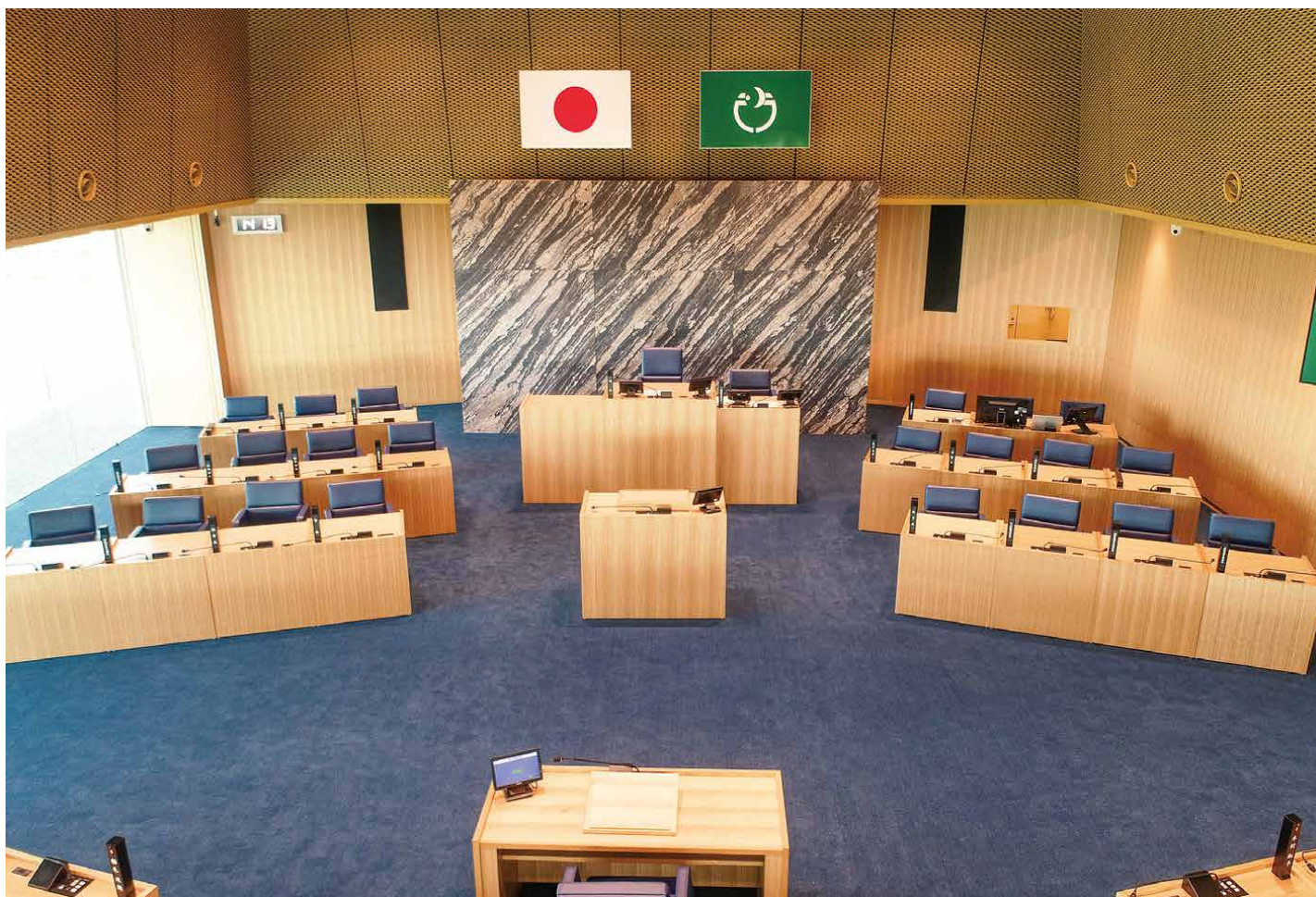
9月定例会

令和4年11月1日

発行：千葉県袖ヶ浦市議会

議会だよりのびろば

特集 「袖ヶ浦市議会 新議場」



CONTENTS

2～3 特集 新議場 **Pickup**

4～5 令和3年度決算の概要と討論

6～7 お金の使い道をチェック

8～9 議案PICK UP

10 議決結果

11～16 11人が市政を問う 一般質問

17 議会ICT推進特別委員会報告

18 ガウラのまち

11月臨時会・12月定例会の予定

議場が新しくなりました

オープニングセレモニー開催

ガウラとソデリーが議場を案内するよ

新議場は、市政を身近なものに感じられるよう、議場の壁の一部をガラスで構成し、通常時や議会開催時の運用に応じた空間が創り出せる柔軟性を持たせたものとなっております。

また、より開かれた議会となるよう、傍聴席には親子傍聴室を併設し、お子様と一緒に傍聴ができます。あわせて、車いすやベビーカーなどを使用する方もエレベーターやスロープを利用することでスムーズに議場傍聴席まで移動できるようになっております。

今後とも、より多くの市民の皆様が傍聴に来てくださることをお待ちしております。



1 傍聴受付

議会を傍聴するために受付をするガウ



2 傍聴席入口

傍聴の受付をしたら、傍聴席へ。スロープがあるから、車いすやベビーカーも移動しやすいガウ



3 親子傍聴席

メモリアルスピーチ

スピーチの一部内容をご紹介します。

学校生活で色々な経験をする中でできた夢は「自分で決めたことは最後まで前向きに努力し、人の役に立てる人」。昭和中学校には「昨年を超える」という伝統があります。学校を進化させていくために、今できることを一生懸命に、新しいことに挑戦することを心掛けています。今の目標は、史上最高と誇れる合唱コンクールと卒業式を作りあげること、夢や目標に向けて一瞬一瞬を大切に生活していきたいと思ひます。



昭和中学校 原田瑞希さん

「未来に向けた想いや夢」

また、新議場のスタートを記念し、次代を担う子ども達から未来に向けた想いや夢をテーマにメモリアルスピーチを披露していただきました。スピーチを披露してくださった市内中学校の皆さん、夢と希望に溢れた素敵なスピーチをありがとうございました。

袖ヶ浦市議会といたしましても、皆さんの夢が叶うようお祈り申し上げますとともに、袖ヶ浦市がより暮らしやすい街となるよう取り組んでまいります。





5 議場の様子



WEBで議場の360°画像公開中
※外部サイトでの公開です。



4 車いす傍聴スペース



6 展望回廊

中学校生活での行事や部活動を通じて、本当に多くのことを学ぶことができました。まだ将来やりたいことがあるわけではないですが、将来、「人に喜んでもらう仕事」をしたいです。誰かに喜んでもらえることで、自分自身もうれしくなれるし、もっと自分の仕事を好きになれると思うからです。第一志望の高校に合格するためにも、時間を効率よく使って勉強したり、生活面でも規則正しい生活をしたり、日々の生活の中の努力が夢につながっていくと思います。

平川中学校 松本咲空さん

「将来の夢」



将来は小学校の先生になりたいと思っています。きっかけは小学校生活がとても楽しく、低学年の子にわからないことを教えたり、優しく接したりすることができたときに、とてもうれしい気持ちになったからです。袖ヶ浦市で教員として過ごせる日が来るのを夢見ています。これから成人していく私たちが袖ヶ浦市をつくっていく自覚を持ち、これからの袖ヶ浦市の未来が明るく光り輝くものであるように私自身も貢献できるように頑張りたいです。

長浦中学校 鈴木結衣さん

「夢に向かって」



私の将来の夢は、医療関係の仕事につくことで、特に興味を持っていることは、僻地や過疎地など、人手が足りていない地域で医療に携わることです。

この仕事で私が一番大切だと思うことは、患者さんに寄り添って笑顔で接することです。一人でも多くの方が安心して笑顔で暮らせる未来を目指して、これからも様々なことを学び、人の役に立てるような大人になれるよう、頑張りたいと思います。

蔵波中学校 山田夏凜さん

「安心して暮らせる未来のために ～無医地区・僻地医療の充実を目指して～」



私は歴史に興味があり、本を読んだり、調べたりする中で人類の歴史は戦争と切り離せないことがわかりました。世界平和のためには、戦い争うのではなく、互いを認め合い、競い合うことで互いを高めていく考えが必要です。根形中のスローガンは「認めあい 磨きあい 支えあい そしてありがとう」です。このスローガンの精神をもって、これからの世界を担う私たちが平和な世界を作ることを宣言します。

根形中学校 大野海斗さん

「平和な世界の実現に向けて」



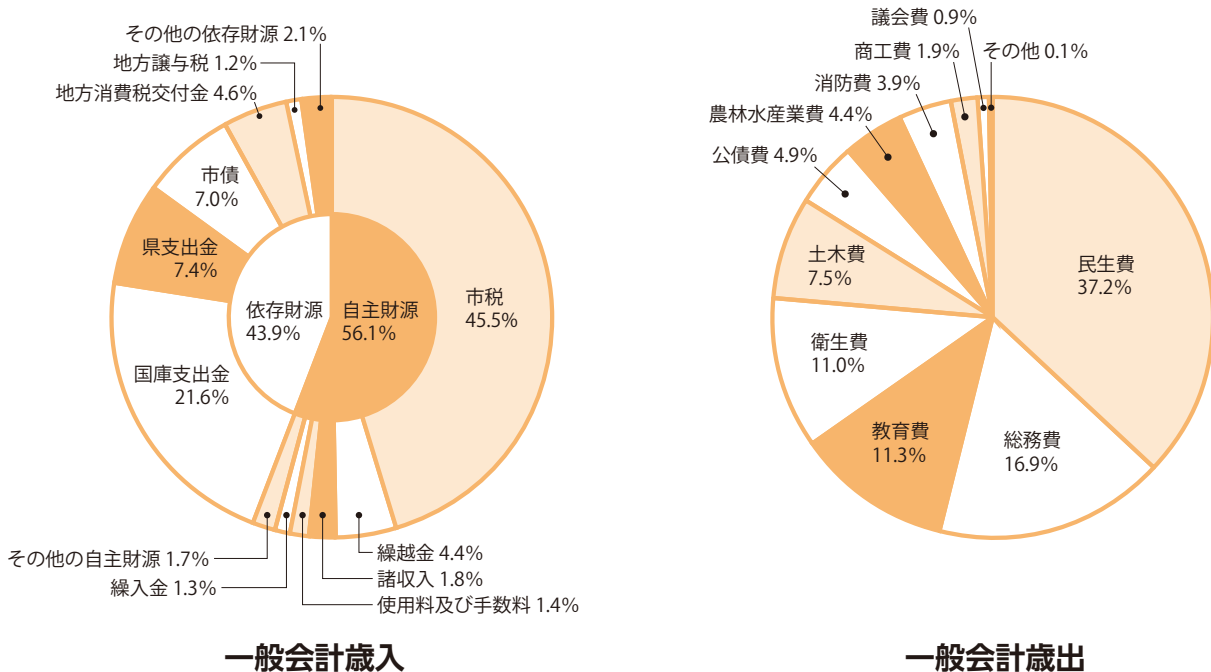
令和3年度決算

税金の使い方をチェックしました

令和3年度は、新型コロナウイルスワクチン接種をはじめとし、市民や事業者への支援など新型コロナウイルスに関する事業が多く実施されました。

決算審査特別委員会では、市民のみなさんが納めた税金がどのように使われたか審議を行いました。

令和3年度 各会計決算状況



	歳入(収入)	対前年度増減率	歳出(支出)	対前年度増減率
一般会計	315億 8,029万円	-9.9%	304億 4,219万円	-9.6%
特別会計				
国民健康保険	62億 726万円	-5.5%	61億 5,254万円	-5%
後期高齢者医療	7億 2,682万円	2.9%	7億 2,252万円	2.6%
介護保険	44億 1,854万円	6.7%	43億 4,024万円	7.6%
下水道事業会計				
収益的収支	17億 8,978万円	4.4%	16億 198万円	-0.6%
資本的収支	3億 6,296万円	-11.5%	7億 8,857万円	-7.7%

防災機能の強化や教育環境の整備を推進 市民福祉の向上や発展に向けた取組を評価

認定

〈一般会計〉

賛成論



**コロナ対策と同時に教育環境や
防災拠点の整備取組を評価**

総合計画第1期実施計画の中間年度。子育て・教育施策では児童数の増加対応として、民間保育所整備の支援事業や、奈良輪小学校校舎増築など教育環境整備の推進。産業施策では、企業の設備投資や雇用促進への支援を実施。防犯・防災施策では、街頭防犯カメラ設置や、防犯灯の適切管理を行ない、市役所北庁舎建設による防災拠点の機能強

化を推進。まちづくりに関しては、高須箕和田線南袖延伸整備など交通利便性向上が図られました。新型コロナウイルス対応ではフクチン接種推進や、市内飲食店、中小企業等に対し各種支援を実施しており、コロナ対策と同時に各分野にて、市民福祉の向上や市の将来の発展に向けて取り組んできたものと評価し賛成します。

反対論



**平川地区「認定こども園」計画
中止・8万円／トの大規模ごみ
焼却見直せ**

財政調整基金残高は、約2億7千万円増です。12月までマイナポイント申請が延期されたマイナナンバーカード申請は約3万件ですが情報漏洩が危険。取りやめを。平川地区で安全より営利が優先される公立の幼稚園・保育園を「認定こども園」にする計画は中止を。ごみ袋値上げは白紙撤回を。5万円弱／トだった広

域大規模ごみ処理費はコースト値上げで8万円／トへの出費増。巨額経費で資源消費し、温暖化防止に逆行する大規模ごみ焼却は見直すべきです。保護者負担となる年6回の「弁当の日」は廃止を。憲法の教育無償化に則り、第1子から給食費早期無償化を求めます。これらのことから反対します。

〈特別会計〉

賛成論



各会計とも適正な運営と判断

国民健康保険では、医療費の削減や疾病の早期発見を実施。歳入では、国保税の収納率向上や特定財源の確保など健全財政に努めていることから、国民健康保険特別会計決算に賛成します。

ある保険料の収納率向上に努めていることを評価し賛成します。

介護保険では、高齢化に伴う費用増加の中、地域支援策として介護予防や在宅医療と介護の連携。費用負担軽減策として高額介護サービス費・特定入所者介護サービス支給等、適正な執行をしていると判断し賛成します。

反対論



**資格証・短期証の交付中止と
被保険者負担軽減を**

国民健康保険では、窓口全額自己負担の資格証交付110件、短期被保険者証交付132件とのこと。これらの交付中止を。一般会計から国保会計への法定外繰入れが2千5百万円で令和5年度にゼロとする計画。令和4年度には国保税増税で負担増に。以前の1億5千万円に戻すべきです。

月の短期被保険者証交付15名、預貯金差し押さえ5件とのことですがこのようなことはやめるべきです。

介護保険では、第8期介護保険事業計画で令和2年度基準額6万7百20円から令和3年度基準額6万2千4百円に値上げされました。負担軽減を求めます。これらのことから反対します。

後期高齢者医療では、6ヶ

令和3年度決算

お金の使い道をチホツク

決算審査特別委員会では、市の取組みへの質疑を行いました。質疑は抜粋して掲載しています。

※そのほかの質疑については、後日ホームページで会議録を閲覧できますので、ぜひご覧ください。

令和3年度総括

Q 新型コロナウイルスの影響を大きく受け、未執行となった分野は。

A 基本計画には6つの分野があり、影響がなかったのは都市形成・都市基盤の分野のみで、他の5分野は影響を受けています。特に市民の方々に参加していたイベント・講習、生涯学習、スポーツ、健康づくり、観光、雇用・就業、市民活動等一部リモートにより開催できているものを除き、影響を受けています。

Q 大きく影響を受けた分野は、今後どのように対処していくのか。

A 当初、国は新型コロナウイルスに対して、緊急事態宣言等重い行動制限を行っていましたが、第7波以降、市民生活についても徐々にではありませんが、元の生活に戻ってきていることを考え、新型コロナウイルス対策をしながら計画に基づき対処していきたいと

考えています。

市の公式LINEアカウントの情報発信

Q 市の公式LINEアカウントのフォロワー数はいくつか。

A R4年3月末現在において、7,032名となっています。

Q アカウントの中で個々のニーズに合わせたセグメント配信はどのように運用したのか。

A セグメント配信につきましては、登



袖ケ浦市公式 LINE 周知チラシ

Q 今後の展開方針等はあるのか。

A 市内には多くの企業があるため、本制度の周知活動を徹底し、より多くの寄付をして

録時にアンケートを取り、お住まいの地域や性別等必要な情報を集約し、それらの情報に対応したセグメント配信を行っています。内容については、主にイベント関係の情報を発信しています。



公式LINEの登録はこちら

※セグメント配信：対象者を条件別に分類し、それぞれのニーズにマッチした情報を配信する。

企業版ふるさと納税の取組

Q 企業版ふるさと納税の概要及び実績は。

A 国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して、企業が寄付を行った場合、法人関係税から税額控除を行う仕組みです。R3年度の実績は、3社から1,110万円の寄付をいただきました。内訳は公立保育所の施設等管理事業に10万円、庁舎整備事業に100万円、市制施行30周年記念事業に500万円、地方公共交通づくり事業に500万円となっています。

産前産後ヘルパー派遣事業の取組状況

Q 利用人数が増えた要因は。

災害情報伝達

Q 防災行政無線の戸別受信機はどのようなところに設置されているのか。

A 主に公共施設に設置しています。防災行政無線の聞こえない難聴世帯や保育所、老人福祉施設等にも設置しています。

Q 音声聞き取りにくい等の設置の判断基準はあるのか。

A 山間部などのスピーカーから離れた世帯や障害等個別の事情にて判断を行っています。



袖ケ浦市企業版ふるさと納税パンフレット

A 産前産後ヘルパー派遣事業の案内としては、妊娠届出書提出の際のほかR3年度は、子ども医療費の受給券の送付の際のチラシの中にも記載をしました。またサービス提供事業者が増えたことにより、リピーターの増加につき、利用人数が増加したと考えています。

Q R3年度の利用人数18名の内訳は。

A 一般世帯が16名、非課税世帯が2名の利用でした。

Q R3年度は利用回数が前年度の4倍となっているが、問題なく事業運営が行えているのか。

A 事業者と利用者間で時間帯や利用回数の調整を行っており、問題なく事業運営が行えています。

子育て世代包括支援事業

Q 子育て世代総合サポートセンターの相談内容は。

A 妊娠届時面談相談等が最も多く、養護相談、育成相談と続きます。これらの相談内容が中心となっています。

Q 相談件数が年々増えているが、現状何名で対応しているのか。

A R3年度は子育て世代総合サポートセンターを子育て支援課2名、健康推進課2名の計4名で対応しています。

Q ヤングケアラーの相談件数は。

A ヤングケアラーの相談は、現在のと

ころ受けていませんが、学校とのやり取りの中で気になる子どもへの対応については、要保護児童対策協議会において情報共有しています。

ごみの資源化推進

Q 資源回収活動推進助成金交付事業の仕組みは。

A 各自治会及び団体において1kgあたり4円の助成金の交付を行っていただきます。

Q 回収かごや網などの設置スペースが取れない自治会もあると聞いているがどのような対応を行っているのか。

A 場所等の問題については、市としても何とか実施できる方向に検討を行っています。土地の問題もあるため、各自治会と相談し、良い方向に持っていきけるように対応しています。



有害鳥獣駆除

Q カラス等の駆除場所の選定方法は。

A 地元へ申請書をあらかじめ渡ししており、要望があがってきた場所を選定しています。

Q 現在のわなの稼働数は。

A 大型用は106基、小型用は200基となっています。

Q わな数は足りているのか。また、申

し込んだら設置してくれるのか。

A イノシシの大型用は足りており、アライグマ・ハクビシン等の小型用は、不足している認識です。小型用は農作物被害の方を優先に貸し出しており、生活被害の方々は順番待ちとなっています。

Q 下宮田区有害獣対策協議会はR3年度どのくらい駆除を行ったのか。

A イノシシ24頭、アライグマ7頭、ハクビシン3頭、タヌキ1頭、二ホンジカ4頭となっています。

タブレット端末の活用

Q タブレット端末を使用したオンライン授業状況について、各学校の共有は行われているのか。

A 家庭でのタブレットの活用については、R3年度は情報推進会議で各学校の取組を紹介しており、R4年度は校長会議や教頭会議にて効果的な活用について情報共有を行っています。

Q Wi-Fi環境のない家庭にはどのような対応を行っているのか。

A 学習用のプリントを各家庭に配布しています。

Q Wi-Fi環境の支援策の検討は。

A 各家庭のWi-Fi環境については毎年調査を行っています。Wi-Fi



Fi機器等の貸し出しについては、現在検討を行っています。

国民健康保険税の収納率

Q コロナ禍で収入が減少した家庭にはどのように対応しているか。

A 各家庭の状況について相談に応じながら、関係部署と調整等を図り進めています。

人間ドッグについて

Q 医療機関の選定はどのように行っているのか。

A 特に条件等はありません。各医療機関に確認させていただき、年度ごとに受け入れを依頼しています。

決算審査特別委員会

委員長	緒方 妙子		
副委員長	湯浅 榮		
委員	佐藤 博文	伊東 章良	
	稲毛 茂徳	根本 駿輔	
	山口 進	山下 信司	
	篠原 幸一	榎本 雅司	
	篠崎 典之		

※そのほかの質疑については、後日ホームページで会議録を閲覧できますので、ぜひご覧ください。



こんなことが決まりました

今号では
この中から
4つを
Pick up!

9月定例会 会期 9月2日～9月27日 26日間

条例の制定……………	1件	規約の制定に関する協議…	1件
条例の一部改正……………	1件	契約の変更……………	1件
財産の取得……………	1件	諮問……………	1件
令和4年度補正予算……………	6件		
令和3年度決算の認定……………	2件	合計 14件	その他報告… 3件

Pick up
2

補正予算 今井地区道路陥没 雨水管内部のカメラ調査費用

可決

今井1丁目で発生した道路陥没事故について、原因を調査したところ、雨水管へ地下水が侵入し、周囲の土砂が陥没したことが判明しました。陥没事故が起こった場所の周辺にも道路下の空洞化が疑われる場所があり、当該地区の修繕履歴にも陥没修繕を行った履歴があったことから、雨水管内のカメラ調査委託を実施することとなり必要な費用が増額されました。今後は、カメラ調査での状況把握により、必要な修繕を進めます。



今井地区の道路陥没の様子

Pick up
1

補正予算 公立保育所でのコロナ対策強化 職員用抗原検査キット購入

可決

公立保育所では、県からの通知に基づき濃厚接触者の特定を行わなくなったことから、陽性者が出た際の感染拡大を防止するために、職員用の抗原検査キットを購入し、接触者の検査を行います。



保育所で使用する抗原検査キット

主な質疑

- Q 抗原検査は定期的に行うのか。咳など何か心配な症状があるときに行うのか。
- A 保育所内で陽性者が出た場合に、接触した職員が検査を実施します。濃厚接触者の待機期間にならって2回実施し、陰性を確認したうえで勤務が可能になります。ことから安心した保育所運営につながります。また、感染が不安な職員への対処という面もあります。

Pick up
3

市庁舎整備 石綿含有建材撤去費用 約1億2,000万円増

可決



庁舎整備工事の様子

庁舎整備工事では、石綿（アスベスト）含有建材について、過去の分析調査結果及び目視調査により含有が明らかとなっている建材の除却を見込んでいました。その後の法改正に伴い、全ての建材について事前調査及び報告が必要になったことによる石綿含有建材の増加及び作業場所の隔離などの作業基準の強化のため事業費の増加が見込まれることとなり、庁舎整備費用が1億2,331万円増額されました。

賛成
討論

石綿対策にて
庁舎整備契約金額
を変更

法改正に伴い、過去の調査では確認できなかった石綿含有建材が判明し、作業場所の隔離など、石綿の飛散防止の徹底や作業員への健康障害防止に必要な措置を講じるため工事費が増額となったものであり賛成する。

反対
討論

1億円超の
大規模工事は
競争入札の実施を

旧議場・旧庁舎及び既存庁舎の階段吹付け吸音材等は、過去の調査では石綿が検出されていない。今回の調査で検出された過程が不明である。1億円超の石綿除去の増加工事は、本体工事とは別に競争入札を実施すべき。

Pick up
4

国葬に伴う市の対応を問う

※
緊急質問

安倍晋三元首相の国葬が執り行われた9月27日、袖ヶ浦市議会では国葬に伴う市の対応について緊急質問が行われました。

主な質疑

Q 安倍晋三元首相の死去による国葬の実施に伴い、市が国葬の前日である令和4年9月26日の夕方になって突然に本庁舎に半旗を掲げるなどとした理由と詳細な経緯について。

A 国・県の動向により検討を行ってきたところです。9月26日の新聞報道にて県内の状況が掲載され、国の省庁、県内各市で半旗を掲揚することも確認しましたが、世論が二分し賛否がわかれていることや、市民の中にも様々な意見がある中で悩んだ末の判断です。直前まで近隣市と情報交換に努め前日の決定となりました。

Q 検討を行った会議の回数はいくらですか。また議事録はあるのか。

A 議事録は整理中ですが、国葬の決定がされたから打ち合わせを重ね、9月26日も複数回打ち合わせをしました。会議のメンバーは市長、副市長、教育長、総務部長、総務課の職員です。半旗を掲揚するかの判断材料を市長にお話し、検討を行いました。

Q 近隣市と情報交換に努めたとのことだが、市が主体的に決めず

※緊急質問は、質問が緊急を要するとき、その他真にやむを得ないと認められ、議会が質問を行うことに同意したときに行われます。

笹生 典之議員
逝去



市議会議員 笹生典之氏は、去る9月30日にご逝去されました。
(享年55歳)

故笹生典之議員は、平成24年10月に市議会議員に初当選以来3期にわたり市政発展のために大きく貢献されました。

この間、総務企画常任委員長、環境・災害対策特別委員長、袖ヶ浦市監査委員などの要職を歴任されご活躍されました。
ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

令和4年9月定例会の議決結果

9月定例会において議案11件、認定2件、諮問1件が審議されました。賛否が分かれた案件は下記のとおりです。

◆賛否が分かれた案件◆

○=賛成 ●=反対 欠=欠席

議案等	議決結果	付託委員会	佐藤博文	伊東章良	木村淑子	稲毛茂徳	伊藤啓	湯浅榮	根本駿輔	山口進	村田稔	山下信司	在原直樹	小国勇	笹生典之	緒方妙子	篠原幸一	吉岡淳一	肋波久子	佐藤麗子(議)	笹生猛	榎本雅司	塚本幸子	篠崎典之
契約の変更について (庁舎整備工事)	可決	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	-	○	○	○	○
令和3年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定	認定	決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	-	○	○	○	●

◆議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わりません。 ◆議案名中の『袖ヶ浦市』及び、『～について』は省略表示してあります。

◆全会一致で原案可決された議案◆

- 一般職の職員の定年引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 財産の取得について(泡消火薬剤購入)
- 一般会計補正予算(第4号)
- 下水道事業会計補正予算(第1号)
- 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議
- 一般会計補正予算(第5号)
- 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 下水道事業会計決算の認定
- 人権擁護委員の推薦

詳細は袖ヶ浦市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

袖ヶ浦市ホームページ <https://www.city.sodegaura.lg.jp/>

議会事務局 ☎0438(62)3450



▲議決結果はこちらから



きむら よしこ
木村 淑子 議員

公明党



質問項目

- 有害鳥獣対策について
- 福祉の充実について

Q 重層的支援体制整備事業の実施について市長の考えは

A 事業の実施に向け、準備を進めているところです

Q

家庭菜園や庭、住宅敷地内でイノシシ等からの防御のための金網柵等に助成金を出さないか。

家庭菜園や庭、住宅敷地内でイノシシ等からの防御のための金網柵等に助成金を出さないか。

A

情報が寄せられ次第、関係部署で情報共有し、目撃のあった学区の小中学校へ情報提供し、学校から児童生徒への指導、保護者へのメール送信を行い、注意喚起を図っています。また、市民安全メールにおいて配信します。

Q

有害鳥獣対策を問う

イノシシやサルが市街地に出没した際の注意喚起は。

A

現時点では考えていません。引き続き、箱わなによる捕獲を進め、市内全体の被害を減らすよう努めます。企業との協力によるICTを活用した実証実験を検討しないか。

Q

先進事例を調査研究していきます。

A

障がい者支援を問う

障がい者支援として、タクシー券を配布しているが、ガソリン代として使用できないか。

A

H11〜25年度、ガソリン券を配布していましたが、給油した燃料について障がい者の送迎に使われるとは確認

実施について市長の考えを問う。実施に向けて準備を進めているところ。福祉部門だけでなく、市全体が連携して関わる必要があります。

重層的支援体制整備事業の実施は

幼児相談、子育て世代総合サポートセンターや障がい者支援課等において、広く相談を受け付けています。

不安を抱える保護者への本市の対応を問う。

できないため、廃止しました。燃料費助成については考えていません。

11人が 市政を問う

一般質問

一般質問とは、

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、議員が市長などに考えを聞くものです。議員本人がQ&Aを要約し作成した原稿を質問者順に掲載しています。

未掲載の内容も含め、一般質問の様子をホームページで録画配信中ですのでご覧ください。会議録は12月頃に掲載予定です。

各議員のQRコードから一般質問の映像が閲覧できます。会議録は市議会ホームページのほか、中央図書館、長浦おかのうえ図書館でも閲覧できます。

会議録はこちらから ▶

袖ヶ浦市議会

検索





むら た みのる
村田 稔 議員

創袖クラブ



質問項目

- 職員を対象とする研修について
- 防災にかかる職員の資機材取扱訓練について
- 社会的弱者への対応について
- 庁舎増築にかかるAEDの設置について



よし おか じゅん いち
吉岡 淳一 議員



質問項目

- 温暖化対策について
- 東電福島第一原発事故を教訓とした自治体行政運営の責任について
- 人事院勧告について

Q 職員の受講研修と目的について

A 3つの研修を柱として効率的に行っています

- Q** どのような研修をどのような目的で行っているか。
- A** 社会情勢の変化や新たなニーズに対応する人材を育成するために、「自主研修」、「職場研修」、「職場外研修」の3つの研修を柱として効率的に行っています。
- Q** 職員の防災資機材操作訓練は
- A** 過去に行われていた職員による防災資機材操作訓練は行われているか。
- A** 避難所開設担当職員、防災安全課職員、学校・公民館の職員合同で、

Q 新築住宅に太陽光パネル設置義務の条例化の考えは

A 太陽光パネルの設置の必要性から先進自治体の取組を注視していきます

- Q** 家庭部門における温暖化阻止の対策は
- A** CO₂実質排出量ゼロするには、エネルギー消費の3割を占める家庭部門の対策が肝要である。先進自治体では、新築住宅に太陽光パネル設置義務の条例化を検討しているが、本市の考えは。
- A** 太陽光発電設備の導入は温室効果ガスの排出削減に有効なことから設置を奨励しています。設置義務の条例化については、建築費用や維持における負担増などの問題があり、今

- Q** どのような資機材の操作組み立ての訓練を実施しています。
- A** 様々な資機材の操作組み立ての訓練を実施しています。
- Q** 社会的弱者に対する対応は
- A** 障がい者のいる家庭における緊急通報体制は。
- A** ファックス・メール119による緊急通報システムのほか、スマートフォンからのインターネットを利用した無声通報も受け付けています。
- Q** 制度、登録方法など周知に力を入れないか。
- A** 不安を感じている方を支援できる

- 後とも先進自治体の取り組みを注視していきます。
- Q** 自治体行政運営の責任について
- A** 福島第一原発事故と熱海土石流事故に共通するのは、公益部門の社会的責任の欠如である。教訓とするものがあるか。
- A** 法令を遵守した行政運営の重要性を改めて認識しました。市内パトロールの実施、許認可申請の審査等、法令違反があった場合は国や県等の関係機関と連携し、災害に強いまちづくりを努めていきます。

- Q** 市庁舎内のAEDについて
- A** よう広報紙なども活用し、引き続き周知に努めます。
- Q** 現在の設置台数と使用実績は。
- A** 現在北庁舎に1台設置してあり、導入後16年間で使用実績はありません。
- Q** 庁舎拡張後に増設の考えはあるか。
- A** 庁舎整備完了後、5分以内の装着が望ましいとのガイドラインをもとに適切に設置していきます。

- Q** 公正な人事で質の高い行政サービスを
- A** 質の高い行政サービスを市民に提供し続けるために、職員が能力を発揮できる職場環境の整備、能力のある女性の積極的な登用が必要である。本市の対応は。
- A** 女性職員の採用や登用については、性別に捉われない対応を行っています。長時間労働の抑制や適正な人事評価などの就労意欲を高める取組を引き続き行っていきます。



と なみ ひさ こ 勐波 久子 議員

日本共産党
袖ヶ浦市議団



質問項目

- 農業問題について
- 木更津看護学院のパワーハラスメント問題について



いな げ しげ のり 稲毛 茂徳 議員

清風会



質問項目

- 地区計画制度を活用したまちづくりの進捗状況と今後について

Q 木更津看護学院パワハラ問題 市の認識は

A 第三者委員会が設置され調査している状況は問題であると考えています

Q 看護師の芽を摘んではならない

A 看護師を育成する同学院で、教員から日常的にひどい暴言等パワハラによって1学年で4割の学生が退学に追い込まれる事態となっている。同学院に負担金を出している市としてどのように認識しているか。

A 君津木更津医師会が運営するこの学院が地域で果たしている役割は。毎年20人前後の卒業生を輩出し、そのほとんどが君津地域4市の医療機関に就職するなど、地域医療の人材育成を担っています。

Q 市内農家の推移と認定農業者数は。農林業センサスによると2015年で1238戸、2020年で946戸、認定農業者はR元年度157人、2年度・3年度は153人です。
A 農家が5年で約300戸も減って

Q 何でも値上がりで大変 農家への市独自支援早急に！

A 運営主体である医師会からハラスメント調査委員会で年内中に調査報告書を取りまとめ報告すると伺っています。その内容を踏まえ関係3市と協議していきます。

A 国や県の動向を注視し検討します。南房総市では、飼料高騰への支援や価格高騰による経費負担の軽減など実施している。本市もできないか。
Q 農家の方々に影響があると認識しています。国の動向を注視しつつ、他市町村の事例も研究していきます。
A 価格保障、所得補償が必要。再建充実するよう国に求めないか。
A 国に要望する考えはありません。

Q 各地域の地区計画策定に、一步踏み込んだ市の関与は

A 市民・行政など多様な主体が役割を分担し、協力・連携して進めます

Q 地区計画制度の周知状況は

A 地区計画ガイドライン説明会への参加人数や主な意見は。
A R3年度は3地区31名、R4年7月の各地域説明会では、5地域合計35名が参加し、自治会単位での説明会開催や住民だけの地区計画策定は難しいといった意見等を頂いています。

Q 過去に市内で地区計画制度を活用した土地利用の実績は。
A これまでの地区計画実績は9地区あり、H8年の代宿地区を初め、直近のR2年坂戸市場地区などが挙げ

Q 将来都市構造実現には、内陸部の人口増加策が必要では
A 袖ヶ浦市の人口は増加基調にある

Q 地区計画は組織結成までが重要

A 地域の旗振り役が不在との意見を聴くが、地域の想いの掘り起こしや地域の組織結成に向けた支援等は。まずは地区計画ガイドラインの周知を広く行い、まちづくりに関する相談や疑問点を拾い上げること。地域の想いの掘り起こしにつながるものと考えています。

Q 昭和・長浦地区で人口は増加しており、内陸部の4地区は5年前と比較し合計で約1千3百人程減少しています。
Q 地域と市がタイアップして内陸部の人口増加策の構築を進めないか。
A 地域の課題解決に、まちづくりの相談等の機会を通じて、住民の声や意向を踏まえ、活用可能な制度の紹介や技術的助言などの支援を行い、地域の方と一緒にまちづくりを推進していきます。

られます。

が、内陸部の現状は。



さ そう たけし
笹生 猛議員

袖和会



質問項目

●ごみ袋値上げについて



い とう あき ら
伊東 章良議員

清風会



質問項目

●本市の魅力を生み出す「ブランディング戦略」について
●本市における「デジタル化推進」について

Q ごみ袋の質が悪いと意見があるが

A 材質、仕様の変更は行っていません

- Q** ごみ袋値上げに関し意見交換会等から「市民の生の声」を抽出
- A** ごみ袋値上げ問題は昨年5月に家庭系ごみ手数料の見直しの基本的な考え方が議会に示された。市民の現状をどのようにつかんでいるか。
- A** まちづくりアンケート等で様々な御意見をいただいています。
- Q** 意見交換会で最初に出てくる意見は「値上げしてもごみは減らない」。
- A** ごみ袋値上げと減量化の関係は。ごみ袋の値上げが市民の行動変容の動機づけとなり、減量化となると考えています。

- Q** ごみ袋の質が悪いという話が各地であった。ごみ袋の質に変更等があったか。また入札の状況はどうか。
- A** 毎年度入札により業者を決定しています。ごみ袋の材質、仕様の変更は行っていません。昨年度の分のストックは、今店舗にある在庫のみということになっています。
- Q** ごみ袋値上げは、財政問題が根底にある！
- A** 現行案通り、ごみ袋が値上げされた場合、年間約5000万円の増収となる。市にとって5000万円というお金は、どんなものか。

- A** 当市の財政としては大きなものだと思います。値上げによる増収分はごみ処理事業費の年間約10億円の費用に対して充当します。
- Q** 5000万円あれば、給食費が2カ月無料になる
- A** 5000万円で出来る事業は、消防団の1年間の運営費、学校給食費が年間約2億5千万円、5000万円充当すると、2カ月給食費が無料になる位の金額で間違いはないか。おっしゃっていただいた通りです。

Q 袖ヶ浦市の良さを再認識して発信していかないか

A 様々な施策が現在進行中であり発掘・発信していきます

- Q** 袖ヶ浦市のブランディング戦略
- A** 本市の良いところの認識は。温暖な気候とアクセスの良さ、農業・工業をはじめとする多様な産業、子育て等の福祉サービスの充実等、「住みたいに思える街」です。
- Q** 現在行われているブランディング戦略の施策内容は。
- A** アンケート等を実施して明確な本市の魅力を確立し『地域ブランド』として対外的に浸透させていきます。
- Q** ゴールとターゲットは。
- A** R7年までに交流や定住人口の増

- Q** ICT企業の育成・誘致について
- A** 新たに始まった電子申請の内容は。市役所に来なくても手続きが出来る様、子育て関係を先行し乃手続きの電子申請フォームを公開中です。
- Q** 加・認知度の向上を目指します。対象は既に本市にお住まいの方、東京湾岸の子育て世代です。
- Q** 「袖ヶ浦良品開発プロジェクト」とはどのような内容か。
- A** 本市に数多くある産品を3事業者に絞って、市と共に特産品を開発・販売まで支援していく試みです。

- Q** マイナンバーカードを取得することのメリットは。
- A** コンビニで住民票交付。図書カードとの代用。国の方でも健康保険証、運転免許証との併用を進めています。
- Q** 多くの固定資産税が見込めるデータセンターを市へ誘致しないか。
- A** 国が進めているデータセンター誘致に関する地方公共団体との意見交換の動向を見守って行きます。
- Q** DX人材の発掘・育成の進捗は。
- A** 情報処理技術の実務経験を持つ職員2名を採用済み。今後も継続的な確保、育成に努めていきます。



しの はら こう いち
篠原 幸一 議員

清風会



質問項目

●各地域の安心・安全なまちづくりについて



しの ざき のり ゆき
篠崎 典之 議員

日本共産党
袖ヶ浦市議団



質問項目

●一般家庭からの廃棄物処理事業等について
●故・安倍元首相の国葬への対応について

Q 自主防災組織の機能強化と結成促進の取組は

A 広報紙等での周知、市職員による出前講座等を開催しています

Q 各地域の安心・安全なまちづくりを強化と組織のない地区への結成促進と今後の対策は。

A 自主防災組織の結成数は、本年4月現在79組織で年々増加傾向にあり、毎年一組織以上の結成を目標に市広報紙や市政協力員会議での周知に加え、市職員による自主防災組織に関する出前講座等を開催し、新規結成の促進を図っています。

Q 各地域での防災活動で中核となる

A 人材の具体的な養成方法は。

A 自治会等を単位とした自主防災組織の取組を支援し、組織のリーダーを対象とした研修会を開催するとともに、自主防災組織の訓練指導や防災資機材の貸与を行い、組織や人材の育成に努めています。

Q 災害時には、高齢者等の要配慮者の支援体制が重要なので、自治会と協力して支援体制を構築していかないか。

A 市では「災害時に自力または家族の支援だけで避難することが困難な要配慮者の方」の避難行動要支援者

A 名簿を作成し、本人の同意に基づき要配慮者の情報を各自治会に提供して、普段の見守りと災害時の支援協力をお願いしています。今後自治会との要支援者等の支援体制について、現状や課題を踏まえ検討を進めます。

Q 公民館・学校との避難所運営訓練は行っているのか。

A 学校との避難所運営訓練は、年度当初に避難所となる学校の先生と避難所開設担当となる市職員との顔合わせを兼ねて、簡易備蓄倉庫内の資機材の取扱方法、避難所開設までの流れの確認を行っています。

Q 国葬に市は何もすべきでない

A 国・県 近隣市の動向を見て判断します

Q 企業からごみを受け入れなければコストが高い施設

A ごみ袋値上げの最大理由は、ごみ排出日量減だ。KCSの大規模焼却炉に日本製鉄からの廃棄物を受入れる。ごみが減ると費用が高くなるからではないのか。

A チャレンジ10（産廃搬入等）をしなければコストが高くなると認識しています。また、例えばコークスが値上げれば、当然単価に反映します。KCSによる広域ごみ処理開始の最大の理由は、1日処理能力100

A 以下の施設に補助金が出ない点だった。今はどうか。

A H16年度末で廃止され、今は、その条件が無い新たな交付金です。

Q 新施設は、東京湾岸に建設予定だ。巨大津波がきたらどうするのか。

A 事業者が富津市ハザードマップを見て問題ないだろうとし、さらに1m程度のかさ上げを提案し、選定委員会の評価も受けています。

Q 人口減やごみ減量になった場合、規模が大きすぎ、産廃搬入増になる。小さくすべきではないか。

A 3炉のうち1炉を止めるような手

Q 段ものはかれます。

Q 廃棄物中、プラスチックごみは、23%。急いで分別、減量しないか。

A 先進事例も勉強し、検討します。

Q 反発を招くごみ袋値上げによるごみ減量は、白紙撤回せよ。

A 審議会等で議論しており、撤回の考えはありません。

Q 国葬に市は何も対処するな

Q 故安倍元首相の国葬には何もすべきでない。市は、どう対処するのか。

A 国・県、近隣市等の動向を確認し判断したいと考えます。



ねもと しゅん すけ
根本 駿輔 議員

清風会



質問項目

●介護環境の改善について



ゆ あさ さかえ
湯浅 榮 議員

清風会



質問項目

●市立幼稚園・小中学校の幼児・児童・生徒の実態について

Q ヤングケアラー連携支援の マニュアル周知状況は

A 関係各課のほか、市内全小中学校に周知しています

Q 介護施設の負担減で環境改善へ

A 民間事業者のサービスで、複数の介護施設の送迎業務を共同化し、職員負担の軽減、人材不足の解消につながる仕組みがある。こうした仕組みの導入で介護環境改善につなげることを検討しないか。

A この仕組みを考案した企業から本年説明を受けたところです。効果が期待できる一方で運営団体や運行団体の選定などの課題もあることから、先進事例を参考に介護施設の意見を伺いながら、本市での導入可能性に

Q ヤングケアラー対応の連携は

A 本年、厚労省より多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアルが出された。福祉、介護、医療、教育など多分野の連携によりヤングケアラーの早期発見、支援につなげるというものだが、本市での周知状況や実際の連携状況は。

A マニュアルについては関係各課のほか、市内全小中学校に周知しました。連携については、子育て世代総合サポートセンターへ連絡するよう

Q 体制を整えています。

A 本マニュアルは一つの型を示したのではなく、参考事例を紹介するようなもの。単なる共有ではなく、これを踏まえた市としての方向性も示すべきではないか。

A 関係機関で構成する既存の会議体を活用して、それぞれの役割の確認等をしつつ連携していきます。

Q 高校生などが情報を得やすいネット上に、本市の支援情報が全くでない。早急に整えるべきではないか。

A 市HPに早急にヤングケアラーに関するページを作成します。

Q 学生服、ランドセルは市が 全額補填を

A 生活保護制度や就学援助制度により、経済的支援に取り組んでいます

Q 中学校制服の無償化を！

A 保護者の経済的な負担となる制服の購入は、子育て支援・少子化対策の一環としても市が行うべきと考えられているか。

A 制服はあくまで個人が使用するものであることから、すべての家庭に対して市が一律に制服の購入費を負担する考えはありません。なお、経済的にお困りの家庭には、本市では生活保護制度や就学援助制度により、入学準備金等を入学前に保護者に渡しており、経済的支援に取り組んで

Q 中学校でもプールでの授業を！

A 中学校でもプールでの水泳授業を行っていただきたいと思うが、プールでの授業は実施せず、理論学習に移行した理由は。

A 小学校で命を守ることができると一定の泳力が身につけていることから、中学校では理論学習で十分であると総合的に判断しました。

Q ランドセルの全額補填を！

A 近年、他の市ではA4サイズの教

Q 科書が入り、本体700グラム前後の1万円程度で購入できる独自の通学カバンを利用している学校が出てきているが、本市も理にかなうカバンを見つけて出し市が全額補填しては。

A 一律に同じ通学カバンを配布し、全額補填するという考えはありません。

Q 通学用カバンは、ランドセルでなくてもよいということを変更して保護者の方に周知していただきたい。

A 各学校から、ランドセルでなくてもよいということを丁寧に説明させていただきます。

議会ICT推進特別委員会 調査結果報告



ZOOMを利用した北海道茅室町との視察の様子



情報化社会の著しい進歩に伴い、議会改革と共に議会のICT化が全国的に推進されており、地方議会においてもICT化による市民への情報提供や議会の効率化が求められる状況にあることから、本市議会においても「議会運営の活性化及び効率化を図り、議会審議の質の向上及び事務の負担軽減に必要な議場等における情報通信技術の活用についての調査・研究」及び「非常事態の際にも議会活動を継続するために必要な情報通信技術の活用についての調査・研究」を目的とした議会ICT推進特別委員会を設置し、ICT化に関する調査・研究を行ってきました。議会ICT推進特別委員会では、新議場でのICT設備の検討や、会議への情報機器の持ち込み、会議システムの導入等が審議され、本定例会にて調査結果の報告が行われました。今後、袖ヶ浦市議会ではタブレット端末や会議システムの導入が予定されています。

議会ICT推進特別委員会調査報告書の主な内容

- 新議場システムについて
- 会議における情報機器の持ち込み及び使用について
- タブレット端末と会議システムの導入について

人権擁護委員が 決まりました

新任 利光 正之氏

任期：令和5年1月1日～令和7年12月31日

人権擁護委員とは…人権擁護委員法に基づいて、法務大臣から委嘱された民間ボランティアで、人権相談や人権の考えを広める活動を行っています。市では8人の人権擁護委員が活動しています。





ガウラのまち



ガウラのまちでは2つのコーナーをお届けします。「袖ケ浦の Before・After」では、便利で住みやすくなった市の取組を写真付きで紹介し、「おいしい袖ケ浦」では、市の観光協会監修のもと、地元の特産品を紹介します。

袖ケ浦 Before/After

袖ケ浦市の暮らしがより良く!

Before

After



車が運転できなくても暮らしやすくなるね



ゴミステーションの停留所

長浦地区で「チョイソコがうら」の実証運行が始まりました

デマンド型の乗合送迎サービス「チョイソコがうら」は、自宅近くのごみステーションや公園を出発地（帰りは目的地）とし、長浦地区内の商店・病院・銀行等や、市役所・袖ケ浦バスターミナル等の地区外公共施設を目的地（帰りは出発地）として「行きたいときに 行きたいところへ」行ける乗り合い送迎サービスです。詳しい利用方法等は担当部署にお問い合わせいただくか、HPをご覧ください。また、今後は実証運行の実績を踏まえながら、順次地区の拡大が検討されます。



市HPはこちら

問合せ 企画政策課 ☎0438-62-2327

おいしい! 袖ケ浦

季節の味覚を味わおう

ホワイトガウラ

袖ケ浦の特産品である牛乳を使用した、ご当地グルメが「ホワイトガウラーメン」です。試行錯誤のスープづくりの中で、しょうがで牛乳のクセを消し、クリームチーズでまろやかなコクを出すことに成功。平成23年開催の「袖ケ浦ご当地グルメ王座決定戦『袖-1グランプリ』」で見事優勝しました。現在、市内4店舗で各店オリジナルの「ホワイトガウラーメン」が食べられます。



お店ごとに独自のアレンジで自慢の味!



取り扱い場所

- 大衆中華ホサナ 蔵波台2-23-23 ☎0438-63-4378
- 袖ケ浦公園 レストハウス菖蒲 飯富2360 ☎0438-63-2118
- 麺処 霧笛 神納1-7-18
- 天然温泉湯舞音 袖ケ浦店（食事処） 袖ケ浦駅前1-39-15 ☎0438-38-6168

「議会のひろば」より

録画配信をご利用ください。定例会終了後約1週間でアップされます。

本会議の会議録はホームページへの掲載まで約2か月かかりますので、内容を早くご覧になりたい方、もっと詳しく知りたい方は、録画配信をご利用ください。

パソコンだけでなく、スマートフォン、タブレット端末でもご覧になれます。

議員名・会議日・会派から選べます。「再生」を押すと映像が始まります。



袖ケ浦市議会 映像 検索

〒299-0292 袖ケ浦市坂戸市場1-1
TEL 0438-62-3450 FAX 0438-63-5130
E-mail sode32@city.sodegaura.chiba.jp

11月臨時会のお知らせ

11月15日(火) 午前10時から臨時会を行います。この臨時会は各常任委員会委員の選任や正副委員長の互選などを行います。ぜひ傍聴へお越しください。

【12月の定例会】

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 本会議 10:00~	30	12/1	2	3
4	5	6	7 本会議 (一般質問) 9:30~	8 本会議 (一般質問) 9:30~	9 本会議 (一般質問) 9:30~	10
11	12 本会議 (一般質問予備日)	13 総務企画 常任委員会	14 文教福祉 常任委員会	15 建設経済 常任委員会	16	17
18	19 本会議 10:00~	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- * 一般質問通告一覧表は11月24日(木)頃、HPに掲載する予定です。
- * 12月定例会の予定は、11月22日(火)に開催される議会運営委員会で正式決定されます。詳しくは議会事務局(0438-62-3450)へお問い合わせください。
- * 請願・陳情の受付は11月17日(木)までです。

